

令和8(2026)年度 環境県民会議活動方針

- 福岡県環境総合ビジョンに沿った6つの活動テーマ(下記1、2及び3)については、昨年度と同様、各主体が実施している取組(活動例参照)は継続して実施する。
- 近年、地球温暖化問題の深刻化に伴い、猛暑日の増加をはじめとする気候変動の影響が顕在化している。このような状況を受け、国際社会及び国内では 2050 年ネット・ゼロの達成に向けた一層の取組が喫緊の課題として求められており、今年度は3(1)「脱炭素社会についての取組」を重点項目とする。

1 地域づくり・人づくりの推進

- ・ 取組実績や取組予定に関する情報を共有し、各委員の取組の参考とする。
- ・ 県民会議の活動方針を各委員が所属する団体内で共有し、実践を促進することにより、環境保全の取組を県内各地域へ広げていく。

2 グリーン化の推進

- ・ 日用品、事務用品、設備等の調達において、環境負荷ができるだけ少ないものを選ぶ。
- ・ 環境配慮型のビジネススタイルへの転換、商品・サービスの開発・普及に努める。

3 環境保全に係る各構成団体の自主的取組の推進

(1) 脱炭素社会についての取組

(活動例)

- ・ 多様なエネルギーの利用(再生可能エネルギーの導入・活用など)
- ・ ソフト面やハード面での省エネの推進
- ・ 公共交通機関や自転車等の利用促進
- ・ エコファミリーやエコ事業所への登録、福岡カーボンクレジット倶楽部への入会
- ・ 吸収源対策の推進(藻場の整備・緑化・植林活動への参加・県産木材の利用など)
- ・ 気候変動の影響への適応(熱中症対策の推進など)

(2) 循環型社会についての取組

(活動例)

- ・ プラスチック資源循環の促進(使い捨てプラの使用削減、プラ代替品の利用促進など)
- ・ 食品ロス削減に向けた取組(食べもの余らせん隊の登録・利用促進、フードバンク団体との連携など)
- ・ 廃棄物の発生を抑制する取組(用紙削減やマイバッグ、マイボトルの持参など)
- ・ リユースを促進する取組(リターナブル容器の積極活用など)
- ・ リサイクルを促進する取組(リサイクル製品の優先利用や資源物の回収など)
- ・ 廃棄物の適正処理の推進(ごみの分別徹底、ポイ捨て撲滅の取組など)
- ・ 環境美化活動の推進(事業所周辺や公園・河川・海岸の清掃など)

(3) 自然共生社会・ワンヘルスについての取組

(活動例)

- ・ 里地里山里海の保全活動(植林への協力や干潟等の保全活動など)
- ・ 身近な自然環境について理解を深める活動や保全を行う取組(希少野生動植物種・外来種等への理解促進、事業所内緑化、自然観察会の実施など)

(4) 快適な生活環境の形成

(活動例)

- ・ 心地よい空気・水・土・居住環境の保全に関する取組(エコドライブの実践、生活排水対策、有害物質の削減など)

【参考】福岡県の新規事業(主なもの)

(1) 脱炭素社会についての取組

○地域共創による脱炭素地域づくりを推進

- ・ 民間企業等と連携して脱炭素化と地域課題の一体的解決に取り組む市町村を支援するため、実現可能性調査への助成や専門家からの助言を実施

○洋上風力発電の運転・維持管理技術者の育成を支援

- ・ 高所作業や重量物扱いなど風力発電特有の運転・維持管理のための専門認証取得を支援

○ペロブスカイト太陽電池を率先導入

- ・ 導入可能性調査の対象を拡大し、県有施設への設置を加速
- ・ 道路施設に試験導入し、活用性を検証

○中小企業の脱炭素化とエネルギーコスト低減を緊急支援

- ・ 中小企業の再エネ・省エネ設備、蓄電池の導入を支援
- ・ 再エネ・省エネ設備の導入や運用改善の実践事例集を作成

○響灘沖一般海域への洋上風力発電導入に向けた取組を推進

- ・ 「促進地域」指定に向け、対象区域周辺における船舶実態調査や船舶・漁業関係者との合意のための調整を実施

○県民への熱中症リスク情報の発信を強化

- ・ 暑さ指数やクーリングシェルター等に関する情報を「まもるくん」や SNS で発信

(2) 循環型社会についての取組

○GBNet 福岡による使用済 EV バッテリーの資源循環「福岡モデル」の構築を強化

- ・ リユース蓄電池・リユース太陽光パネル普及のため、サブスクサービスの事業化を実証
- ・ 県内企業のリユース蓄電池市場への参入に向け、蓄電池製造業者とのマッチングを実施

○市町村の災害廃棄物処理のための体制整備を支援

- ・ 迅速な初動対応を支援するため、実践マニュアルの策定に向けたひな形の作成、研修会、専門家による相談会を実施

○AI を活用した不法投棄の監視パトロールを実施

- ・ 動画から AI が不法投棄された廃棄物を感知するシステムを開発
- ・ 山林や河川敷など不法投棄多発地点を通行する協力企業や市町村の車両に撮影用端末を設置し、不法投棄の監視パトロールを実施

(3) 自然共生社会・ワンヘルスについての取組

○ワンヘルス実践！多様な主体による生物多様性保全活動を応援

- ・ 環境保全団体の継続的な活動を支援するための事業者の掘り起こし・マッチングを実施

(4) 快適な生活環境の形成

○きれいで豊かな博多湾の海づくりを推進

- ・ 水産生物に必要なリン濃度の調査・分析を実施し、環境基準に係る水域類型の見直しを検討